

生産事業所の環境データ（サイトデータ）

筑波事業所

集計範囲：開発技術センターを含めた筑波事業所内を対象としています。

事業所概要 所在地 茨城県稲敷郡阿見町大字福田字谷の沢127-7
 操業開始 1981年（昭和56年）10月
 敷地面積 97,000m²（東京ドーム2ヶ分に相当）
 建物延床面積 29,326m²
 社員数 372人（2007年3月末現在）



主な生産品目 事務用デジタル印刷機「リングラフ」ならびに関連周辺機器
 高速カラープリンター「オフィス」ならびに周辺機器

特定施設の届出状況

- ・大気汚染防止法のばい煙発生施設（ボイラー）
- ・霞ヶ浦の富栄養化の防止に関する条例の特定施設：浄化槽
- ・騒音・振動防止法の特定施設：液圧プレス、機械プレス、空気圧縮機、せん断機、丸のご盤、合成樹脂射出成型機

主な環境保全活動

- ・ISO14001:2006年12月更新
- ・RoHS指令対応など環境配慮設計活動
- ・グリーン調達の実施
- ・廃棄物排出量の削減と再資源化の推進
- ・省エネによるCO₂排出量削減
- ・使用済みインクボトルのリサイクル
- ・グリーン購入の推進

環境関連データ

- ・電力使用量：282.7万kWh【2005年度比 91%】
- ・廃棄物総排出量：509t【2005年度比 62%】
- ・埋立最終処分量：2t*【2005年度比 167%】
- ・廃棄物再資源化率：98.6%【2005年度比 0.1ポイント増】
- ・水使用量：12,420m³（上水のみ）【2005年度比 79%】
- ・排水量：12,420m³【2005年度比 79%】
- ・BOD年間排出量：21.1kg/年【2005年度比 84%】（平均濃度×年間排水量で算出）
- ・窒素年間排出量：136.6kg/年【2005年度比 88%】（平均濃度×年間排水量で算出）
- ・リン年間排出量：12.4kg/年【2005年度比 98%】（平均濃度×年間排水量で算出）

*全体として廃棄物排出量を削減し、再資源化率も向上しましたが、廃インクの処理の増加により埋立最終処分量が増加しました。

主な環境負荷データ

排水の水質

測定項目	単位	規制値	自主基準設定値	最大値	平均値
水素イオン濃度	pH	6.0~8.2	6.11~8.09	7.6	7.4
化学的酸素要求量(COD)	mg/ℓ	10.0	9.0	9	8
生物化学的酸素要求量(BOD)	mg/ℓ	10.0	9.0	3	1.7
浮遊物質	mg/ℓ	15.0	13.5	6	3.5
Nヘキサン抽出物含有量(鉱油類)	mg/ℓ	3.0	2.7	1	1
Nヘキサン抽出物含有量(動植物油脂類)	mg/ℓ	5.0	4.5	1	1
大腸菌群数	群数/mℓ	1000.0	900.0	0	0
窒素含有量	mg/ℓ	15.0	13.5	14.2*	11
リン含有量	mg/ℓ	2.0	1.8	1.5	1

筑波事業所の排水は、公共水域に排出しています。

規制値は、水質汚濁防止法、霞ヶ浦の富栄養化の防止に関する条例、阿見町との公害防止協定によるものです。

*浄化槽の攪拌機のうち一台が故障したことにより、全窒素の管理値を超えてしまいました。修理を行うとともに、これまでの点検項目に加えて攪拌機、ポンプなどの個々の機器に電流値の管理値を設定し、異常を早期に検知できるように対策しました。

大気への排出

物質名	単位	規制値	自主基準設定値	最大値	平均値
硫黄酸化物(SOx)	m ³ N/時	1.03	0.945	0.03	0.034
窒素酸化物(NOx)	volppm	180	162	45	59
ばいじん	g/m ³ N	0.3	0.27	0.012	0.012

生産事業所の環境データ(サイトデータ)

霞ヶ浦事業所

集計範囲：開発本部の一部門、リサイクルセンターを含めた霞ヶ浦事業所内を対象にしています。

事業所概要 所在地 茨城県稲敷郡阿見町阿見282-2
 操業開始 1965年(昭和40年)8月
 敷地面積 28,265m²
 建物延床面積 16,821m²
 社員数 93人(2007年3月末現在)

主な生産品目 事務用デジタル印刷機「リソグラフ」用カラーインクならびにマスター高速インクジェットカラープリンター「オルフィス」用インク
 家庭用簡易印刷機「プリントゴッコ」ならびに関連消耗品

特定施設の届出状況 ・大気汚染防止法のばい煙発生施設(ボイラー)
 ・騒音、振動防止法の特定施設：コンプレッサー(空気圧縮機)、シャーリングなどの工作機械



主な環境保全活動 ・ISO14001:2006年12月認証取得
 ・省エネによるCO₂排出量削減
 ・廃棄物排出量の削減と再資源化の推進
 ・使用済み印刷機本体のリサイクル活動

環境関連データ ・電力使用量:186.6万kWh【2005年度比 95%】
 ・廃棄物総排出量:403t*【2005年度比 122%】
 ・埋立最終処分量:19t*【2005年度比 76%】
 ・廃棄物再資源化率:50%*【2005年度比 11ポイント増】
 ・水使用量:17,520m³(上水3,278m³、地下水14,242m³)【2005年度比 107%】
 ・排水量:8,408m³【2005年度比 102%】
 ・BOD年間排出量:79kg/年【2005年度比 60%】(平均濃度×年間排水量で算出)
 ・窒素年間排出量:133kg/年【2005年度比 102%】
 ・リン年間排出量:16kg/年【2005年度比 91%】
 * リサイクルセンターの霞ヶ浦事業所移転に伴い廃棄物排出量が増加したが、再資源化の推進により最終処分量が減少し、再資源化率は向上した。

主な環境負荷データ

排水の水質

測定項目	単位	規制値	自主基準設定値	最大値	平均値
水素イオン濃度	pH	5~9	—	7.4	7.2
生物学的酸素要求量(BOD)	mg/ℓ	600.0	—	14.0	9.4
浮遊物質	mg/ℓ	600.0	—	12.0	6.1
Nヘキサン抽出物含有量(鉱油類)	mg/ℓ	5.0	—	1未満	1未満
Nヘキサン抽出物含有量(動植物油脂類)	mg/ℓ	30.0	—	1.0	1未満
窒素含有量	mg/ℓ	60.0	—	25.0	15.8
リン含有量	mg/ℓ	10.0	—	2.2	1.9

霞ヶ浦事業所の排水は全て公共下水道へ排出しています。規制値は、霞ヶ浦流域の土浦市下水道条例によるものです。

大気への排出

	物質名	単位	規制値	自主基準設定値	最大値	平均値
009ボイラー (1号機)	硫黄酸化物(SOx)	m ³ N/時	1.1	0.05	0.03	0.025
	窒素酸化物(NOx)	volppm	180	165	71	69
	ばいじん	g/m ³ N	0.3	0.03	0.01	0.01
010ボイラー (2号機)	硫黄酸化物(SOx)	m ³ N/時	1.1	0.05	0.03	0.03
	窒素酸化物(NOx)	volppm	180	165	65	63.5
	ばいじん	g/m ³ N	0.3	0.03	0.01	0.01
007ボイラー (3号機)	硫黄酸化物(SOx)	m ³ N/時	1.1	0.05	0.03	0.025
	窒素酸化物(NOx)	volppm	180	165	97	94.5
	ばいじん	g/m ³ N	0.3	0.03	0.01	0.01
008ボイラー (4号機)	硫黄酸化物(SOx)	m ³ N/時	1.1	0.05	0.02	0.02
	窒素酸化物(NOx)	volppm	180	165	85	82.5
	ばいじん	g/m ³ N	0.3	0.03	0.01	0.01

宇部事業所

集計範囲：宇部事業所内を対象にしています。

事業所概要 所在地 山口県宇部市瀬戸原工業団地 建物延床面積 15,598m²
 操業開始 1986年(昭和61年)6月 社員数 84人
 敷地面積 75,871m² (2007年3月末現在)



主な生産品目 事務用デジタル印刷機「リソグラフ」用黒インクならびにマスター

特定施設の届出状況 大気汚染防止法のばい煙発生施設(ボイラー)

主な環境保全活動

- ・ISO14001:2006年12月認証更新
- ・RoHS指令対応など環境配慮設計活動
- ・廃棄物排出量の削減と再資源化の推進
- ・省エネによるCO₂排出量削減
- ・使用済みインクボトルのリサイクル
- ・グリーン購入の推進

環境関連データ

- ・電力使用量:311.8万kWh【2005年度比97%】
- ・水使用量:8,427m³(上水4,199m³、地下水4,273m³)【2005年度比99%】
- ・廃棄物総排出量:234t【2005年度比100%】
- ・排水量:4,199m³【2005年度比102%】
- ・埋立最終処分量:6t【2005年度比67%】
- ・BOD年間排出量:39kg/年【2005年度比62%】
- ・廃棄物再資源化率:20%*【2005年度比57ポイント減】
- (平均濃度×年間排水量で算出)

*廃インクの処理委託先を委託先の都合により再資源化処理から単純焼却処理に変更せざるを得なかったことにより。2007年4月より新規再資源化処理委託先で処理開始。

主な環境負荷データ

排水の水質

測定項目	単位	規制値	自主基準設定値	最大値	平均値
水素イオン濃度	pH	5.8~8.6	5.8~8.6	7.6	7.3
化学的酸素要求量(COD)	mg/ℓ	160	112	22	16.7
生物学的酸素要求量(BOD)	mg/ℓ	160	112	18	9.3
浮遊物質	mg/ℓ	200	140	11	5.3
大腸菌群数	群数/ml	3000	2100	10	1.7

大気への排出

物質名	単位	規制値	自主基準設定値	最大値	平均値
硫黄酸化物(SOx)	m ³ N/時	0.602	0.355	0.130	0.106
窒素酸化物(NOx)	volppm	180	165	79	74
ばいじん	g/m ³ N	0.3	0.05	0.0027	0.0022

宇部事業所の排水は、公共水域に排出しています。規制値は、水質汚濁防止法及び山口県公害防止条例によるものです。

若栗事業所

集計範囲：若栗事業所内を対象にしています。

事業所概要 所在地 茨城県稲敷郡阿見町若栗西神田 敷地面積 6,710m²
 1339-2 建物延床面積 5,179m²
 設 立 1990年(平成2年)4月 社員数 77人
 (2007年3月末現在)



主な環境保全活動

- ・ISO14001:2006年12月認証取得
- ・RoHS指令対応など環境配慮設計活動
- ・省エネによるCO₂排出量削減
- ・廃棄物排出量の削減と再資源化の推進
- ・グリーン購入の推進

環境関連データ

- ・電力使用量:122万kWh【2005年度比88%】
- ・排水量:3,209m³【2005年度比93%】
- ・廃棄物総排出量:10t【2005年度比77%】
- ・BOD年間排出量:417kg/年【2005年度比65%】(平均濃度×年間排水量で算出)
- ・埋立最終処分量:1t【2005年度比集計未実施】
- ・窒素年間排出量:105kg/年【2005年度比167%】(平均濃度×年間排水量で算出)
- ・廃棄物再資源化率:57%【2005年度比集計未実施】
- ・リン年間排出量:5kg/年【2005年度比167%】(平均濃度×年間排水量で算出)
- ・水使用量:3,209m³(上水のみ)【2005年度比93%】

主な環境負荷データ

排水の水質

測定項目	単位	規制値	自主基準設定値	最大値	平均値
水素イオン濃度	pH	5~9	5.4~8.6	8.6	7.5
生物学的酸素要求量(BOD)	mg/ℓ	5日間に600mg未満	5日間に480mg未満	270	136
浮遊物質	mg/ℓ	600mg未満	5日間に480mg未満	102	46.8
N ⁺ 抽出物含有量(鉱油類)	mg/ℓ	5mg以下	4mg以下	1	1
N ⁺ 抽出物含有量(動植物油脂類)	mg/ℓ	30mg以下	24mg以下	16	4.25
窒素含有量	mg/ℓ	日間平均60mg以下	日間平均48mg以下	42.1	32.8
リン含有量	mg/ℓ	日間平均10mg以下	日間平均8mg以下	3.17	1.7

若栗事業所の排水は公共下水道へ排出しています。規制値は、阿見町下水道条例によるものです。